

全国病院リストつき

ガンの再発・転移を抑え、末期ガンさえ回復する最新免疫療法

夢21

2010

10
520円

ガンは治せる! 再発・転移も 徹底的に防ぐ 驚異の No.1療法

◆ **今や2人に1人がガンは治すも** 主役はあなたで **医療も進み克服する人が続出**
 ◆ **甘い物好きな人は危険!** あなたは **ガンになりやすいか** その対策も **前ぶれも上** **ガン検診**
 ◆ **ガンは一度は再発を防ぐことも** **このガン制圧食で** **治る人が続出!** **朝・昼・晩** **の献立つき**



ガンの高額な健康保険で激減し補える
治療費は生活費で

◆ **発見!** **ガンの人の誰も** **ストレスや** **恐怖心が消えて** **ガン克服の3分ヨガ**

◆ **ガンと免疫細胞** **闘う体内のリンパ球を増やし** **ガンの痛みが** **消えて再発も** **胸さすり**

◆ **生存率0%のガンを** **克服し20年間再発も** **ガン退治** **ジューズ** **完全版**

◆ **乳ガン** **子宮・卵巣ガンなど** **冷えの** **ある人に多発し** **腹巻きとシヨウガ**

◆ **日本** **人に特に** **激増中の** **大腸ガンは** **腸の急な衰えが重大** **乳酸菌と** **腸もみ**

秋に **増える** **薄毛を** **黒髪を増やす** **黒ゴムのすごい力**

賞金10万円!

今月号を読めば誰でもわかる
新健康クイズ

胃炎もたれもピロリ菌の

増殖をマヌカハチミツが全国で抑制するとマヌカハチミツが評判!

中野クリニック院長 **中野 正人**



ヨーグルトといっしょに食べてもいい

●50代以上の約7割がピロリ菌に感染中

みなさんの中には、胃に住み着くヘリコバクター・ピロリ菌（以下、ピロリ菌と略す）のことを、ご存じの人も多いのではないのでしょうか。胃の中は、胃酸が強いため細菌は生きられないと考えられてきたので、1982（昭和57）年にピロリ菌が発見されたときは、医学界は大きな衝撃を受けました。怖いのは、ピロリ菌が胃の中にあることで、胃の不調を招きやすくなることです。ピロリ菌が胃の中にあると、

胃の粘液の分泌が減るため、胃の粘膜は胃液に直接さらされて、傷つきやすくなります。すると、結果的に胃炎が起りやすくなり、それに過剰なストレスが加われば胃潰瘍になります。胃ガンも招きやすくなります。ある調査では、日本人のピロリ菌感染率は、50代以上で約7割とされており、年を取るとともにさらに増える傾向にあります。ピロリ菌は薬による治療で除菌できます。しかし、成功率は当然のことながら100%ではないし、副作用が起ることも少なくありません。そこで、最近になって注目を

浴びているのが、ピロリ菌退治に役立つマヌカハチミツ（後述）というわけです。MGGOの数値が大きいものほど抗菌力が強い。一般的に、ハチミツには、ビタミンやミネラル（無機栄養素）、アミノ酸（たんぱく質の構成成分）、酵素（化学反応を助ける物質）など百数十種類もの栄養素が含まれ、抗菌・抗炎症作用が強いと以前から知られていました。さらに、ハチミツに含まれる亜鉛には胃の粘膜を強める働きがあり、アセチルコリンという成分には、胃の周囲の血行をよくする働きがあることも確認されています。そして、ハチミツの中でも、一段と強力な抗菌・抗炎症作用を発揮するのが、マヌカハチミツなのです。マヌカハチミツは、ニュージーランドの「マヌカ」という花から採取されたハチミツで、濃厚でドロツとした食感があります。これまでの研究によって、マヌカハチミツにはブドウ球菌や大腸菌、サルモネラ菌など、あらゆる有害菌の働きを

5年近く悩んだ頭痛やめまいを伴うウツが、新型レシチンで大幅改善し、転職にも成功

こう じけんいち 神津健一

●薬による治療に不信感を抱いた

東京都の松永孝太郎さん（仮名・25歳）は、20歳のときにウツを発症しました。憂うつになって集中力が低下し、毎日のようにめまいや頭痛、耳鳴りに襲われるので、1日のうち約18時間を布団の中で過ごすことも、しばしばあったそうです。

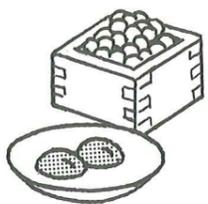
松永さんはこれまで、抗ウツ薬による治療をずっと受けてきました。しかし、薬を飲みつづけても常に頭の中がヒ

リヒリするようで、憂うつ感もなかなか消えなかったといいます。健康な状態を100点とすると、60程度しか回復しなかったことがないと、松永さんは話しています。

2年前には都内の会社に就職したものの、出社する気力がわかず、休みがちでした。ウツの症状が少しでもよくなればと、松永さんは何度か病院を変えたこともありましたが、どの病院でも問診で体調を聞かれ、数種類の抗ウツ薬を処方されることのくり返しだったので、半ばあきらめが

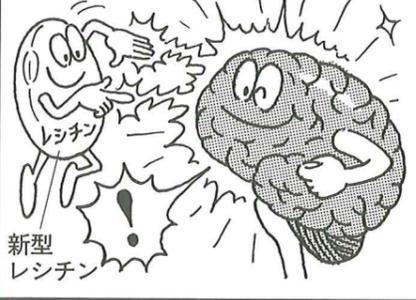
●新型レシチンとは何か

レシチンとはリン脂質と呼ばれる脂質の一種で、大豆や卵黄などに多い。脳神経を修復したり、情報の伝達にかかわる物質を増やしたりすると注目されている。



●新型レシチンの利点

大豆由来のレシチンを小さな分子に加工しているため、ふつうのレシチンより脳に届きやすい。



こう じけんいち 神津健一

●体調がよくなり毎日の生活も充実

新型レシチンをとり始めて

ちだったとのこと。それでも松永さんは、薬に頼らずにウツを改善させたいと考えて、今年の春に私たちがクリニックを訪ねてきました。松永さんには、アミノ酸（たんぱく質の構成成分）の一種であるトリプトファンや魚油、ビタミンB群などを、ふだんの食事で積極的にとるよう指導しました。それとともに、松永さんには大豆の脂質に多い新型レシチンの食品を1日3粒ずつとってもらったのです。すると、松永さんにとって新型レシチンは思った以上にとりやすく、しかもその場で気力がわき、翌日も同じ感情が続いたといえます。そして、1週間が過ぎるころには憂うつ感が大幅に和らいで、他人と話すことも苦痛に感じなくなりました。そのため、松永さんはこのまま新型レシチンをとりつづければ、ウツを克服できると確信したそうです。

から1カ月がたつと、松永さんの症状はさらに改善。めまいや頭痛、耳鳴りもほとんど出なくなり、最初は3種類飲んでた抗ウツ薬も1種類まで減らされました。以前は疲れやすくて、画面を短時間しか見ることができなかったパソコンも、普通に使えるまでになったとのこと。「今は日常のささいなことも楽しく感じられ、毎日が充実しています。薬を飲みつづけても解消しなかった憂うつ感が、食生活の改善と新型レシチンでここまで消えるとは驚きました。何よりも、薬に頼る生活から脱却できたことがうれしいですね」。松永さんはそう話しています。仕事に復帰する自信もつき、現在は新しい会社から内定をもらって、転職の準備を進めているそうです。最後に、新型レシチンは栄養補助食品なので、誰にでも前の記事の野田さんや、松永さんと同じ働きが得られるとは限りません。あくまでも、ウツによる不安感やイライラ感を和らげる一助として、役立ててください。

抑えることがわかっており、特にピロリ菌に対しては、その作用が絶大です。

しかも、乳酸菌など体には有用な菌に対しては、抗菌力を発揮しないという優れた特徴があることも確認されています。

さらに、マヌカハチミツには、フラボノイド（植物の色素成分）や、メチルグリオキサールという生理活性物質も含まれています。こうした多種多様な成分が相乗的に働いて、ピロリ菌の抑制作用が発揮されていると考えられています。

マヌカハチミツのピロリ菌に対する作用は、東京農工大



ニュージーランドに咲くマヌカの花

ピロリ菌を完全に抑えた実験

マヌカハチミツの濃度	10%	5%	2.5%	マヌカハチミツなし
A	-/-	-/-	+/\Delta	++
B	-/-	-/-	+/\Delta	++
C	-/-	-/-	+/\Delta	++
D	-/-	-/-	+/\Delta	++
E	-/-	-/-	+/\Delta	++
F	-/-	-/-	+/\Delta	++
G	-/-	-/-	+/\Delta	++

マヌカハチミツの寒天培地にピロリ菌を植えた72時間後のようすを比較（2回実施）

-：増殖なし +：増殖 \Delta：やや増殖

学の寺尾啓一客員教授らの研究グループが行った試験によっても、確認されています。

ピロリ菌を入れた寒天培地にマヌカハチミツを加えたところ、5%以上の濃度では、ピロリ菌の増殖が完全に抑えられていたと報告されています（左の表を参照）。

そして、マヌカハチミツの中でも抗菌力が強いと証明されているのが、先に述べたメチルグリオキサールの含有量が多いものです。メチルグリオキサールの含有量を示す指標として、MGOという数値が用いられ、製品ラベルに表示されたMGOの数値が大きいものほど、抗菌作用も強い



米森春光さん

少しく早く胃痛を治したいと思った米森さんは、病院で処方された薬と併用してマヌカハチミツを食べはじめました。朝と夜寝る前の1日2回、ティースプーン1杯のマヌカハチミツを砂糖の代わりに入れて、ヨーグルトに入れて食べる

「私は、それから毎晩、マヌカハチミツをティースプーンにとって、1杯食べるようにしました。すると、私の場合は1カ月もたたないうちに胃の痛みが和らいできたのです。半年後にはほとんど胃の痛みはなくなり、市販の胃薬も飲まなくなりました」

鈴木さんは、それからも毎年の健康診断で胃の検査をしています。胃に異常はなく体調もいいので、問食も今では全くしていません。

「食後にマヌカハチミツをとるのが、今でも習慣になっています。私にはマヌカハチミツがピッタリ合うので、これからもマヌカハチミツをとりたいと思います」と、鈴木さんは話してくれました。

「朝と夜に食べた」

千葉県の米森春光さん（52歳・会社員）が、胃の検査でピロリ菌が見つかったのは、昨年の11月のことです。

米森さんは、数年前から胃が痛み出して、市販の胃薬を飲んで痛みを紛らわせていましたが、痛みがあまりにもひどくなったので、病院で検査を受けたのです。

「検査で胃潰瘍が見つかり、それもかなり進んでいたの

「私」

米森さんは、ふだんは朝食を飲むことが多かったのですが、夜はお酒だけを飲むことが多かったそうです。しかし、そうした食生活は胃に負担をかけるため、胃潰瘍を悪化させてしまったのでしよう。

「私が職場で胃にピロリ菌がいたという話をすると、同僚がマヌカハチミツというハチミツに、ピロリ菌の除菌作用があると教えてくれました」

「マヌカハチミツを食べて1カ月ほどたつと、胃の痛みがなくなり、1カ月半後の昨年の12月末に再検査をしたら、なんとピロリ菌が全くなくなっていました。ピロリ菌があると胃ガンにもなりやすいといわれていたので、ホッとしました」

また、私は子供のころから便秘がひどかったのですが、マヌカハチミツをとってからは、毎日便通があります。さらに、両腕に濃いシミがあるのですが、このシミが最近になって薄くなり、目立たなくなってきました。これもマヌカハチミツのおかげだと思っています」

光森さんは、今でも朝は、マヌカハチミツ入りのヨーグルトだけはしっかり食べています。夜にお酒を飲んで帰ったときも、必ずマヌカハチミツ入りのヨーグルトだけは食べます。

「マヌカハチミツをこれからはとって食べたいです」と、米森さんは笑顔で話してくれました。

ピロリ菌と胃潰瘍に悩んだがマヌカハチミツで全部解消

「マヌカハチミツを食べて1カ月ほどたつと、胃の痛みがなくなり、1カ月半後の昨年の12月末に再検査をしたら、なんとピロリ菌が全くなくなっていました。ピロリ菌があると胃ガンにもなりやすいといわれていたので、ホッとしました」

と判断できます。現在のところ、MGOの最高等級は550+。これを選べば強い作用が期待できるでしょう。

マヌカハチミツは、そのまま食べてもいいし、パンに塗ったり、コーヒーや紅茶に混ぜたりして取るのもおすすめです。また、ヨーグルトとい

「1カ月で胃痛が和らいだ」

岡山県に住む鈴木俊一さん（44歳・会社員）は10年前、胃痛に悩まされていました。いつも胃がシクシクと痛み、毎日のように市販の胃薬を飲んでいったそうです。

「食事をして時間がたつと、胃が張ってきてどんどん痛くなり、ズボンのベルトをゆるめないと苦しくなるほどで、背中まで痛くなることもあり

「以前と同じように、胃が張って痛くなるのです。何かを食べると胃が落ち着くので、間食をして痛みをしのいでいました」

そして、今から3年前の健康診断で、鈴木さんはピロリ菌の検査を受けると、案の定、結果は陽性と出てしまいました。しかし、仕事が忙しく、病院の除菌治療は受けず

「食後に必ず現れた胃痛がマヌカハチミツで治り今は胃薬も不要」

「マヌカハチミツをとっただけで、誰もがピロリ菌を完全に除菌できるわけでは決してありませんが、ぜひ毎日の食事に取り入れて、胃の健康増進に役立ててください」

「マヌカハチミツをこれからはとって食べたいです」と、米森さんは笑顔で話してくれました。